

令和4年度学校経営方針

菊川市立菊川西中学校

1 本校の現状

生徒

- 素直で真面目、落ち着いた
- 学校行事、清掃等に一生懸命取り組む
- 小集団ではよく語り合える
- 学習課題に意欲的に取り組む
- △不登校傾向をもつ生徒が多い
- △個が弱く、他者依存の生徒が相当数いる
- △集団が大きくなると意見交換ができない
- △指示待ちの傾向が強く、自ら考えない

教職員（学校）

- 学年で取り組む意識が高い
- 学級、学年の生徒への細やかな対応
- 授業研究に意欲的になってきた
- △支援を必要とする生徒、配慮を要する保護者対応に苦慮している
- △従来の授業スタイルからの脱却に苦慮

保護者（家庭）

- 本校教育への信頼度の高さ(92.5%)
- 学校の取組へのクレームの少なさ
- △生徒の家庭での過ごし方の格差
- △保護者のモラルの低下

地域

- 加茂地区を中心とする新規流入層で生徒数増加傾向
- 菊川市をリードする自負心のある地域
- △駅前地区コミュニティの衰退、分散化
- △定住年数による価値観の多様化
- △地域を知る方たちの高齢化

2 教育行政が求めるもの

文部科学省

『令和の日本型学校教育』構築の推進、働き方改革
新学習指導要領の着実な実施（主体的・対話的で深い学び）
個別最適な学び（「個に応じた指導」を学習者の視点から整理した概念）の実現
協働的な学びの実現、全ての子どもたちの可能性を引き出す

静岡県（教委）

- 『有徳の人』の育成 ～誰一人取り残さない教育の実現～
- 知性・感性・身体能力など、自らの個性に応じて「才」を磨き、自立を目指す人
 - 多様な生き方と価値観を認め、自他を大切にしながら「徳」を積む人
 - 「才」を生かし「徳」を積み、社会や人のために貢献する「才徳兼備」の人

菊川市（教委）

菊川市教育の基本目標「豊かなところを育むまち」を受け、

「確かな学力と思いやりに満ちた学校」づくり

- ①中学校区を核とした学びの環境づくり
- ②ICT環境等を生かした魅力ある授業づくり
- ③思いやりに満ちた学校づくり
- ④「一人ひとりが生きる教育」の推進
- ⑤こころざしを持った頼もしい教職員の育成

3 本年度の目標

学校教育目標

地域に誇れる 地域が誇れる 菊西中

胸を張って地域に発信や貢献できる生徒、学校の姿を目指す。その姿を地域が誇ってくれるようにしたい。地域の統合の象徴として大事にされる学校を目指す。

重点目標

自立・共生

本校生徒の実態や私たち教職員が生徒に願う姿、教育行政の求めるものを受け、今年度より重点目標をこのように掲げ、全教育活動において生徒にこの姿を求めていく。また、それを私たち教職員が全力で支えていく。自立・共生している姿とは、

- ・自分(たち)で考える
- ・自分(たち)で決める
- ・自分(たち)から行動する
- ・自分(たち)を見つめる
- ・しなやかに乗り越える力をつける
- ・他者の意見に耳を傾ける、認め合う
- ・みんなにとってよりよいもの、ことを目指す
- ・みんなで乗り越える、励まし合う、支え合う
- ・地域や社会を意識できる人を目指す
- ・みんなで対応していく

《Iの伸長》自己の成長

《Weの拡張》人や社会とかかわる力

よって、私たちが生徒に問いかけることも、

「あなたはどう考えるの？」

「周りの人の意見も聞いたの？」

「あなたはどうしたいの？」

「それってみんなにとってもよいもの、こと？」

「あなたはどうしたかったの？」

「みんなでがんばろう。一人じゃない」

「あなた自身をどう思うの？」

「地域や世の中の人から見たらどうなのかな？」

のような言葉になる。そして、賞揚（認める）言葉も、

「あなたの考え、決めたこと、

「みんなにとってよりよいもの、ことになったね」

とった行動、いいと思うよ」

「みんなのために…と考え、行動したからだよ」

「あなた自身が成長したね」

「他の人たちにも喜ばれた（れる）よ」

などの言葉になる。求める以上、認める言葉のシャワーも欠かせない。

自立・共生は、中学校を卒業しても人として一生求められる姿である。よって、この姿は生徒のみに求められる姿ではなく、私たち教職員にも求められる姿である。

4 経営の重点

上記重点目標の達成のために、私たちの2つの使命と外部との連携に力を注ぐ。

生徒指導（理解）

生徒指導主事を中心に、部ごと推進

「自ら考え、行動する生徒の育成」 ・自己判断 ・主体的な行動 ・思いやる心

「安心、安全な環境づくり」 ・安心、安全な環境 ・分かりやすい授業 ・多様性の尊重
を目指す。全教育活動において、積極的な生徒指導を推進する。

「褒める」「認める」「習慣化する」ことが基本

重点目標の達成を目指し、生徒指導主事を中心に3つのつくり部体制で臨む。

学びつくり部 自ら学び自ら考え、互いに高め合う生徒 を目指す。

安心つくり部 自ら考え判断し、よりよい集団をつくる生徒 を目指す。

活動つくり部 自他の幸せを願い、自ら考え行動できる生徒 を目指す。



これらの推進において、市内外教育機関やP T Aと積極的に連携する。特に、不登校やいじめ、問題行動対応には、迅速かつ複数での対応や関係機関との連携を重視する。

授業研究 研修主任を中心に、研修推進委員会が推進

「子どもが自分の人生を幸せにする」ことができるような成長を願い、授業研究に力を注ぐ。授業の中で、授業を通して、自立と共生を目指す。

研修テーマ 子どもが、自分(たち)で見方・考え方・感じ方を広げ、深める学びの創造
主体的な学びのために、内発的継続性動機付けに重点を置き、研究する。

I C T インプットだけでなくアウトプットに積極的に活用する。活用することが当たり前前の状況を生み出す。そのためのスキルアップに取り組む。目的にはしない。

『学びの庭』構想

また、菊川市が進める『学びの庭』構想を、学区の小学校と共に《**菊西学舎**》として、地域と協力して生徒たちの教育にあたっていく。

【学舎教育目標】 地域に誇れる 地域が誇れる菊西学舎

【めざす子ども像】 対話により学び合い、あきらめずに挑戦する菊西学舎の子 を掲げ、
ア 中学校と小学校がめざす子ども像を共有し、同じ方向性をもった一貫教育を行う。
イ 地域の住民がもつ力を、地域ボランティアや地元企業の協賛といった形で教育に生かし、子育てしやすい地域を実現する。

ことを目的とする。そのために運営協議会や部会、小中合同研修会を開催して進める。

【経営目標(指標)】 として以下を掲げる。ゴシック体はグランドデザインでも公開する。

- (1) 学校が楽しい…93%
- (2) みんなで何かをするのは楽しい…93%
- (3) 授業に主体的に取り組んでいる…90%
- (4) 授業がよくわかる…90%
- (5) 学校に信頼することができる先生がいる…90%
- (6) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある…85%
- (7) 学級の生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う…90%
- (8-1) 授業でタブレットを使って調べ学習を行った…100%
- (8-2) タブレットを使って自分の考えを表現したり、友達と意見の交流をした…90%